


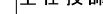

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	2	6	3	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	Bor.No.11			調査位置	広島県廿日市市大野早時					北緯	34° 18' 10.5537″								
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所					調査期間	平成30年 1月23日～平成30年 1月23日					東経	132° 17' 34.8408″						
調査業者名				主任技師				現場代理人				コア鑑定者				ボーリング責任者			
孔口標高	CDL 2.80m	角 180° 上 下 0° 	方 向 	北 0° 270° 180° 南 東	地盤勾配 	鉛直 90°	使用機種 エンジン	試錐機	東邦D1-C			ハンマ落下用具	半自動型						
総掘進長	6.00m							エンジン	ヤンマーNFD13			ポンプ	東邦BG-3C						

標尺	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色調	相對 密度	相對 稠度	記 事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室掘 進 月 日				
												深 度 m	10cm毎の 打撃回数			打撃回数／ 貫入量	N 値	深 度 m	試験名 及び結果		深 度 m	試料 番号	採取 方法	内 試 験
													0	10	20									
1	2.30	0.50	0.50	●	礫混り砂質土	暗灰			盛土。表層草根が混じる。 中～粗粒の砂・砂質土。φ5～10mmの角礫が混じる。	1/23 2/60		1.15	1	2	5	30	5		1.15	P-1	○	物理		
2				●	シルト混り砂	淡褐	緩い	細～粗粒のまさ土。 φ3～10mmの風化した角礫が点在する。 掘削水は断続的に逸水する。			1.45								1.45		○			
3	0.40	1.90	2.40	●	礫混り砂	暗褐	中くらい	中～粗粒砂。 φ3～7mmの風化した花崗岩礫が混じる。			2.15	1	3	2	6	30	6		2.15	P-2	○			
4	-0.60	1.00	3.40	●	風化花崗岩	淡灰褐		軟岩1。 中～粗粒のまさ状もしくはφ3～5mmの風化した角礫状。 全体に構成鉱物の細粒化が進む。 角閃石は微細砂状をなす。 カリ長石や石英はφ1～5mmの薄片状で多く残る。			2.45								2.45		○			
5				●							3.15	4	9	18	31	30	31		3.15	P-3	○			
6	-3.20	2.60	6.00	●							3.45								3.45		○			
7				●						4.10	27	23		50	15	50	上	4.10	P-4	○	物理			
8				●						4.25								4.25		○				
9				●						5.05	50			50		50	上	5.05	P-5	○				
10				●						5.15				10		50	上	5.15		○				
11				●						6.00	50			50		50	上	6.00	P-6	○				
				●						6.05	6			6		6		6.05		○		1/23		